



Do we need a new journalism in the era of corporate media?

Telling the stories of Climate, Inequality and Justice in 2023

インドで社会の中で埋もれてしまいがちな「農民の物語」を伝え続ける、気骨のジャーナリストである パラグミ・サイナート氏。急速に変化する世界において、ジャーナリズムの社会的役割が改めて問われています。気候危機や社会経済の正義のための運動を、どのように世界中に伝えていくことができるのでしょうか。民衆のための新たなジャーナリズムについて、自身の活動を基にお話いただきます。

日時

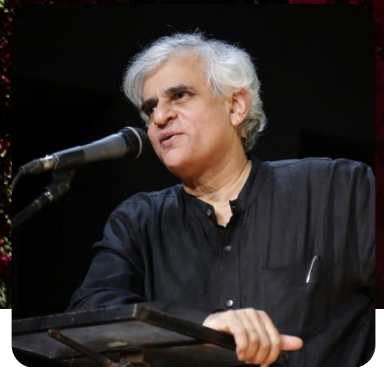
2023/10/21 SAT 13:00-15:00

会場 JR 博多シティ 10F 大会議室

参加対象 学生、一般の方など、どなたでもご参加いただけます

言語 英語(同時通訳あり)

定員
100名
先着



詳細・参加申込はこちら

参加申込締切:

2023/10/13 FRI
17:00 まで



<https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/events/events-qaos/4318/>

登壇者

インド / ジャーナリスト
(People's Archive of Rural India 創立編集者)
パラグミ・サイナート氏

【主要業績】

1995年 欧州委員会ロレンツォ・ナタリ・メディア賞
2000年 アムネスティ・インターナショナルのグローバル人権ジャーナリズム賞
2001年 国連食糧農業機関ベルマ賞
2007年 ラモン・マグサイサイ賞
2021年 第31回福岡アジア文化賞大賞

【略歴】

1957年5月13日チェンナイ(旧マドラス)生・
ジャワハルラー・ネルー大学院大学 歴史学専攻
1996年 主著『Everybody loves a good drought
(みんな干ばつが好き)』・政治雑誌『ブリッツ』副編集長
2004-2014年『ザ・ヒンドゥー』紙農村問題担当
編集者
2014年 デジタル・ジャーナリズムのプラットフォーム
「People's Archive of Rural India (農村インド民衆文書館)」
の立ち上げ